

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)3111代
印刷所 旭印刷
電話(水保)4101番

津奈木




もちつき大会

この程、物産ギャラリ「グリーンゲイト」を拠点に町おこしグループ「グリーンゲイト・ファミリア」が誕生し、地域活性化に取り組みことになった。グループは二十五人で各事業所の青年部員等が主体、町内の若者が中心になって運営して行くものである。

今後、いろいろなイベントが予定されているようだが、先頃、同グループによる「もちつき大会」が行われ、威勢よく打ちおろす杵の音があたりにひびきわたった。

若者たちの活動が「もち」のように粘り強く継続され、町の活性化に一役買ってもらいたいと期待する。

一言

「天網恢恢、疎にして漏さず」子供のころ(ヒヤカエル等の小動物をいじめていると、祖父や近所の年輩者から、「そんなことをすると天罰が下るぞ。」とよく叱られたものです。最近耳にしないう言葉になってしまいました。私はこの天罰を恐れ、子供心に神仏に手をあわせ、罪ほろぼしを願ったものです。肥後守で指を切ったり、ころんで怪我でもすれば(あの時の罰が下ったのだ、二度としないぞ。)と反省したものです。今考えてみればこの「天罰うんぬん」は、先達からの、弱者をいじめてはならぬ、小さい命といえども生まれた以上は何等かの役に立っているのですよ。大切にしなさい。としらすらすの内に、命の尊さ、慈悲の心、情、人生を歩むのに一番大切なことを学んでいたのだと思います。新聞では、いじめによる殺人、若者の自殺等、悲報を目にするころ、時の流れが変わったといえども変わってはいない大切なことまで流れさうとうとしているのではないかと不安になります。今の子供達に「天罰うんぬん」ではわらわられるかもしれませんが、天網恢恢、疎にして漏さずを教え、影ひなたのない明るい思いやりのある子供を育てたいと思います。(福永記)



思いどおりに (親子あげ大会)

親子あげ大会、冬休みにお父さん、お母さん、おじいちゃん達と一緒に作った色々の凧をもちり、大声を出しながら、一生懸命凧をあげる親子。じんご凧、典芸凧地引凧ありで、それはそれは大変なものでした。



親子一緒に

修理してもなかなか舞い上がらない凧、大空に気持よきように舞い上がっていく凧、また、いろいろな親と子の姿が見つけられ、子供より親の方が熱心という場面も沢山あり本当に楽しそうでした。

きつとすばらしい親子の思い出づくりができたのではないかと思います。

あたたかい視線で 障害者を見守って

熊本市 小学生 10才

私は、ひたすら歩いた。障害者の人たちと。ブラカードを持ち、ピラを配った。ピラをもらってくれた人は、十人中、二三人であった。「読んでみて下さい」とわたそうしても、「ああいやけこです」といい、にげていくような感じで歩いて見守ります。車いすに乗った障害者が、歩いている人に、ピラをあげようとすると、全然ちがう。どうして障害者を「つめたい目」で見守るのかな。自分がこんな「つめたい目」で見られたらぜつたいいやだと思えます。

どうして、同じ人間なのに差別するのだから。ちえがなくておかしから？しゃべり方がおかしいから？どちらにしてもおかしい。障害者の人たちは、自分でなくて障害をもったのではないのです。みんなが障害の人たちを傷つけないよう心がけてほしいです。

見方を変えて 参加して下さい

皆さんは、津奈木町に青年団があることをご存じですか？また、青年団がどんな活動を行っているかを知っていますか？

おそらく、名前を聞いたことはあっても、何をやっているのかなんて知らない人がほとんどでしょう。青年団と聞き呼び名さえ、今では死語になっており、若い人の間で口にもださうものなら指をさされて、「くさい」とか、「ださい」とかのレッテルを貼られてしまっています。

しかし、このようなプレッシャーを背負いながらも青年団は、津奈木町に存在しており微力ではあ



みんな力を合わせて

つても自分たちの住んでいる、住んでいく町をより良くしようという活動を行っています。

現在、活動を行っている団員は20代の独身男女20名ほどで、今年度の主な活動内容は、8月の夏祭りに参加して、残された者は夢も希望もないように思いがちです。しかし、もう一度まわりを見渡してください。見方を変えてみてください。

都会にはないすばらしい所があるはずですよ。活動に参加してみてください。あなたの力でもそれは変えられるはずですよ。

新刊図書紹介(ご利用下さい)

生きるんだボンちゃん・風の又三郎・よだかの星 路傍の石・よわむしなお ばけ・月のぼるまに 大相撲ウソホントの新発見・鄙の論理・大声小夏は、愛と殺人の季節・泥棒は眠れない・殺人よ さようなら・三宅猫ホムズの四季・二十一世紀への手紙・生きる幸福、老いる幸福・この国の私たち・女人源氏物語(一五)・大地の子(上中下)・橋のない川(一六)・バルセロナの休日・僕が本に若かった頃・初恋よきようならのキスをしよう・わたしは盲導犬訓練士・愛犬バックはどこへいくの？・となりのトトロ・銀河のエンサート・土俵の鬼たち・がんこじいさんのゆめの国・こめんね、お母さん・これならエイズは恐くない・話方で性格を変える・幸福のつかみ方・六十歳からの生き方・夏にみる夢・石橋は生きていく・信長に反逆した男たち・世界はこう変わる・いい女へのパスポート・あふれる愛・普通の愛

